資料 4-3

調査票（都道府県用チェックリスト）

チェックリスト（都道府県用）の遵守状況

都道府県用チェックリストは現在国が改定を検討しており、最短で令和 3 年度末に改定される可能性があります。下段の調査票はチェックリスト改定後に差し替えます。また国立がん研究センターが令和 3 年度末に開始する、「令和 3 年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査」は、改定後のチェックリストを用いて行う可能性があります

1. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営 （令和元年度の実施体制についてご回答ください）	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1) がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係わる専門家によって構成されていますか					
解説： 全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも医師会の参加が無い場合は×とご回答ください					
(2) がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、精密検査機関等と調整を行っていましたか					
(3) 令和元年度のがん部会を開催しましたか					
(4) 年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか					
解説： 生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関（例：対がん協会支部など）が行っている場合は〇とご回答ください					

2. 受診者の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば〇と	胃がん（エックス線）		胃がん（内視鏡）		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 令和元年度の対象者数（推計を含む）を把握しましたか												
(2) 平成29年度の受診者数を把握しましたか												
(2-1) 平成29年度の受診者数（率）を性別・年齢階級別に集計しましたか												
(2-2) 平成29年度の受診者数（率）を市区町村別に集計しましたか												
(2-3) 平成29年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか												
(2-4) 平成29年度の受診者数を検診受診歴別[注1)] に集計しましたか												

3. 要精検率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば〇と	胃がん（エックス線）		胃がん（内視鏡）		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度の要精検率を把握しましたか												
(1-1) 平成29年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか												
(1-2) 平成29年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか												
(1-3) 平成29年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか												
(1-4) 平成29年度の要精検率を検診受診歴別[注1)] に集計しましたか												

4. 精検受診率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば〇と	胃がん（エックス線）		胃がん（内視鏡）		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度の精検受診率を把握しましたか												
(1-1) 平成29年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか												
(1-2) 平成29年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか												
(1-3) 平成29年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか												
(1-4) 平成29年度の精検受診率を検診受診歴別[注1)] に集計しましたか												
(2) 平成29年度の精検未把握率を把握しましたか												
解説： 未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び（精検受診したとしても）精検結果が正確に分からないもの全てを指します												

調査票（都道府県用チェックリスト）

5. 精密検査結果の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○と	胃がん（エックス線）		胃がん（内視鏡）		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度のがん発見率を把握しましたか												
(1-1) 平成29年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか												
(1-2) 平成29年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか												
(1-3) 平成29年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか												
(1-4) 平成29年度のがん発見率を検診受診歴別[注1)]に集計しましたか												
(1-5) 平成29年度のがん発見率を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか												
(2) 平成29年度の発見がんに対する早期がん割合を把握しましたか												
解説： 肺がんでは臨床病期0～Ⅰ期のがん割合、乳がんでは臨床病期Ⅰ期までのがん割合を指します												
(2-1) 平成29年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか												

5. 精密検査結果の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○と	胃がん（エックス線）		胃がん（内視鏡）		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(2-2) 平成29年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか												
(2-3) 平成29年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか												
(2-4) 平成29年度の早期がん割合を検診受診歴別[注1)]に集計しましたか												
(2-5) 平成29年度の早期がん割合を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか												
(3) 平成29年度の粘膜内がん（胃がん、大腸がん）・非浸潤がん（乳がん）を区別しましたか												
(4) （子宮頸がん検診）平成29年度の上皮内病変（CINなど）数を区分毎に集計しましたか												
解説： 病変は①～④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数												
(4-1) （子宮頸がん検診）平成29年度の上皮内病変（CINなど）数を年齢階級別に集計しましたか												
(4-2) （子宮頸がん検診）平成29年度の上皮内病変（CINなど）数を市区町村別に集計しましたか												
(4-3) （子宮頸がん検診）平成29年度の上皮内病変（CINなど）数を検診機関別に集計しましたか												
(4-4) （子宮頸がん検診）平成29年度の上皮内病変（CINなど）数を検診受診歴別[注1)]に集計しましたか												
(5) （子宮頸がん検診）平成29年度の発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しましたか												
解説： 微小浸潤がんは進行度ⅠA期のものを指します												
(5-1) （子宮頸がん検診）平成29年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか												
(5-2) （子宮頸がん検診）平成29年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか												
(5-3) （子宮頸がん検診）平成29年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか												
(5-4) （子宮頸がん検診）平成29年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別[注1)]に集計しましたか												
(6) 平成29年度の陽性反応適中度を把握しましたか												
(6-1) 平成29年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか												
(6-2) 平成29年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか												
(6-3) 平成29年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか												
(6-4) 平成29年度の陽性反応適中度を検診受診歴別[注1)]に集計しましたか												
(6-5) 平成29年度の陽性反応適中度を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか												
(7) 平成29年度の発見がんについて追跡調査を実施しましたか												
(7-1) 平成29年度の発見がんの追跡所見・病理所見について把握しましたか												
(7-2) 平成29年度の発見がんの予後調査（生存率・死亡率の分析など）を実施しましたか												
解説： この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要です												

資料 4-3

調査票（都道府県用チェックリスト）

6. 偽陰性例（がん）の把握　検診の実施年度は問いません 以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1)　（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しました 解説：検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがんを指します（基本的には1年未満に発見された大腸がん・肺がん、2年未満に発見された胃がん・乳がん・子宮頸がん）					
(2)　偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか 解説：市区町村から、がん検診の偽陰性例の把握のために地域がん登録データの提供依頼があった際に、提供できる体制があれば〇とご回答ください。					
(3)　検診受診後1年以上経過してから発見された大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された胃がん・乳がん、子宮頸がんを把握しましたか 解説：住民検診受診後、規定された次回の検診（基本的には、大腸・肺がん検診は1年後、胃・乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがんを指します					

7. 不利益の調査　検診の実施年度は問いません 以下4項目は次のような方法によって把握が可能である ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計して ・主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書[注2] を送付し、その後報告されたものを集計している	胃がん（エックス線）	胃がん（内視鏡）	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1)　検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか 解説：検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除きます						
(2)　精密検査による偶発症を把握しましたか						

7. 不利益の調査　検診の実施年度は問いません 以下4項目は次のような方法によって把握が可能である ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計して ・主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書[注2] を送付し、その後報告されたものを集計している	胃がん（エックス線）	胃がん（内視鏡）	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(2-1)　消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか						
(2-2)　その他の重要な偶発症を把握しましたか 解説：入院治療を要するものを指します（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）						

注1）初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別：初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者（肺がん）

注2）依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」http://nxc.jp/nccscr-commu/に掲載しています。